

新規受託開始と 検査受託中止のお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記の検査項目につきまして、新たに受託開始、及び受託中止をさせていただきこととなりましたので謹んでご案内申し上げます。

先生方には何卒ご利用いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

■新規受託開始項目及び実施日

2020年 8月31日(月)ご依頼分より開始

| 項目コード | 検査項目 | 検体量 (mL) | 容器 | 保存 | 所要日数 | 実施料判断料 | 検査方法 | 基準値 (単位) |
|-------|--------------------|----------------|----|----|------|-----------|------------|-----------------------|
| 1274 | MAC抗体 (抗酸菌抗体定性) | 血液2.0 血清0.5 | A | 冷蔵 | 5~7 | 116 免疫 | ELISA ※ | 陰性 0.7未満 (U/mL) |

※本検査は定性検査です。抗体濃度を参考値としてご報告いたします。

■検査受託中止項目及び最終受付日

新規項目受託開始に伴い、2020年8月29日(土)ご依頼分をもって受託中止とさせていただきます。

| 項目コード | 検査項目 | 検査案内掲載ページ | 備考 |
|-------|-------|-----------|---------------------------|
| 4564 | MAC抗体 | 未掲載 | MAC抗体(抗酸菌抗体定性)受託開始に伴う受託中止 |

以上

検査のご依頼に関するご不明な点やご要望等につきましては、弊社営業担当、または学術インフォメーションまでお問い合わせ下さい。TEL:075-631-6230

● MAC 抗体(抗酸菌抗体定性)

肺 MAC 症の診断補助に有用な検査です。

肺 MAC (*Mycobacterium avium* complex) 症の確定診断は臨床症状や画像診断法、細菌学的検査などを総合しておこないます。関連学会より診断基準が出されていますが、良質な臨床検体が得られないなどの理由から、細菌学的診断基準を満たすまでに数ヶ月以上を要する症例が多いことなどが問題となります。

本検査は、血清中の MAC 壁抗原 [glycopeptidolipid (GPL)-core] に対する IgA 抗体を測定することにより、肺 MAC 症の補助診断が可能です。GPL-core は MAC 壁の主要な構成成分であり、MAC 以外の主要な肺抗酸菌感染の病原体である *M. tuberculosis* や *M. kansasii* には存在しないため、MAC に特異的な血清診断の抗原として用いられています。日本では非結核性抗酸菌 (nontuberculous mycobacteria: NTM) による呼吸器感染症の約 89% が MAC であるという報告もあり、近年急速に増加傾向を示しています。

血清診断を診断補助として使用することで、診断が迅速、容易になることが期待されています。

▼ 疾患との関連

肺 MAC 症

▼ 関連する主な検査項目

MAC 核酸同定 [TRC]
結核菌群核酸同定 [TRC]

▼ 検査要項

| | |
|-------|---------------------------------|
| 検査項目名 | MAC抗体(抗酸菌抗体定性) |
| 項目コード | 1274 |
| 検体量 | 血液2.0 血清0.5 |
| 容器 | A |
| 保存方法 | 冷蔵保存してください |
| 所要日数 | 5~7日 |
| 検査方法 | ELISA |
| 基準値 | 陰性 0.7未満 |
| 検査実施料 | 116点 (「D012」抗酸菌抗体定性「17」) |
| 判断料 | 144点(免疫学的検査判断料) |
| 備考 | 本検査は定性検査です。抗体濃度を参考値としてご報告いたします。 |

●参考文献

Kitada S, et al: AMERICAN JOURNAL OF Respiratory and Critical Care Medicine 177(1):793~797, 2008. (検査方法参考文献)

北田 清悟, 他: 呼吸器内科 27(1):18~23, 2015. (臨床的意義参考文献)